

高知市地域アクションプランの進捗状況等について

H 2 5 . 9 . 2

高知市地域本部

1 地域アクションプランの上半期の実施状況（総括）

(1) 総評

全 32 項目の地域アクションプランについて、実行支援チームをつくり、事業推進に向けた支援と進捗管理を実施することにより目標の達成を目指している。

農業分野では、県下随一のキュウリの産地である J A 高知春野が、キュウリの代表的な病気である黄化エソ病対策として、天敵利用技術の普及を図るとともに、増収のため、炭酸ガスを施用する取り組みや新品種の生育調査を行っている。また、地域農産物の消費拡大を図るため、J A 高知市の農産品加工施設の機能強化を高知県産業振興推進総合支援事業費補助金の活用によって支援し、併せて食品加工や販売の人材育成にも積極的に取り組んでいる。

商工業分野では、新たにアクションプランに加わった高知県産の竹を使った自動車用ハンドル素材や竹シートの製造において、取引先との協議が進み、主要工程での製造設備の新規導入が始まるとともに、竹材の安定供給の目途が立つなど順調に推移している。また、地域の農産物を使った菓子類を首都圏で販売する取組では、この春、東京に 2 つの支店がオープンした。

また、観光分野では、よさこい祭り 6 0 周年にあわせて 4 月 2 7 日にオープンした高知よさこい情報交流館が、8 月 1 8 日現在で 3 7, 8 6 6 人の入館者を迎えるなど、予想を超えるにぎわいを見せている。この施設は、はりまや橋商店街の東詰めにあり、はりまや橋商店街と連携したイベントを開催するなどして、大橋通りやひろめ市場周辺を中心市街地西地区とともに東西軸エリア全体の発展が図られるよう取り組むこととしている。

(2) 具体的な動き

① 地域の重点的な動き

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>地域の特徴を活かした多様な農業の展開</p> <p>■No. 1 キュウリの生産販売対策の強化による産地振興</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ J A 高知春野 ・ J A 高知春野キュウリ部会 	<p>[目標(H27)]</p> <p>出荷量：H27 園芸年度 11,000 t</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>出荷量：H25 園芸年度 11,000 t</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 担い手対策(先進地調査 2 回、遊休ハウス情報収集の取組検討 5 回、受入農家との意見交換会 1 回) の実施 ・ 黄化エソ病対策として天敵利用の検討(協議会の開催 2 回、実証試験 6 ほ場、勉強会 2 回、現地検討会 2 回、環境保全

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.2 グロリオサの生産販売対策の強化による産地振興</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ J A高知市 ・ J A高知市三里園芸部花卉部会 	<p>型農業推進事業活用)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 量販店等での販売促進PRの実施、販促用レシピ作成 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 産地維持拡大体制整備 <ul style="list-style-type: none"> ⇒担い手が利用できる農地情報の収集及び共有、就農受入体制の検討 ・ 品質向上及び増収のための技術改良 <ul style="list-style-type: none"> ⇒天敵利用の普及に向けた実証圃の設置及び検討会の実施、炭酸ガス施用及び新品種の普及推進 <p>[目標(H27)]</p> <p>販売額：H27 園芸年度 80,000 万円</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>販売額：H25 園芸年度 76,000 万円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 適正な栽培管理技術の再確認（球根管理、病害虫管理等勉強会の開催） ・ オレンジハート栽培管理の聞き取り調査の実施 ・ 試験場や農家代表も参加する球根肥大不良解消プロジェクトチーム会において実証試験を行い、解決のためのデータ収集や情報交換を実施 ・ イベント（高知1回・東京1回）での試飾による宣伝活動を実施するとともに、花保ちを確認するための輸送中の品質保持対策の検証 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>球根肥大不良の原因解明</p> <p>⇒農業技術センターとの連携による球根肥大試験の検証</p>
<p>■No.3 生産と販売促進対策の強化による消費地に選ばれるユリ産地の振興</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ J A高知市 ・ J A高知市長浜支所園芸部花卉部会 ・ J A高知春野 ・ J A高知春野花卉部会球根部会 	<p>[目標(H27)]</p> <p>販売額：H27 園芸年度 46,000 万円</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>販売額：H25 園芸年度 45,000 万円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 品質向上（目慣らし会5回・ボリュームアップ処理実施[5～6花に摘蕾]）、コスト低減対策（寒冷地型ヒートポンプ加温機の導入の検討5戸、36台、102a）の実施 ・ ユリのブランド化のための市場調査の実施、及びホームページによる情報発信 ・ 安定出荷を見据えた植え付け計画の検討 <p>[課題と今後の対応]</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.5 ナシ産地の振興とブランド強化</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ J A高知市 ・ 針木梨組合 <p>■No.7 新ショウガの生産振興</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ J A高知春野 ・ J A高知春野ショウガ部会 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 品質の底上げと安定出荷 ⇒現地検討会等の実施 ・ ホームページの充実 ⇒ホームページ掲載内容検討 <p>[目標(H27)]</p> <p>生産量：H27年産 550 t</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>生産量：H25年産 330 t</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高品質化に向けた栽培講習会（1回 21人参加）及び巡回指導 ・ 地域ぐるみの鳥獣害対策（協議会及び地域パトロール）の実施 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 産地ブランドの向上 ⇒高品質化への管理の徹底（目慣らし、土壌管理等） ・ 鳥獣害対策の継続 ⇒カラス対策に加え、イノシシ・ハクビシン対策の強化 <p>[目標(H27)]</p> <p>販売額：H27園芸年度 120,000 万円</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>販売額：H25園芸年度 95,000 万円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 品質向上対策（目慣らし会 1回・土壌病害対策実証試験現地検討会 2回、発生状況聞き取り調査等）の実施 ・ 出荷場の機能強化（洗浄水確保のための再処理装置導入効果の検証、腐敗防止対策としてマイクロバブル発生装置の効果の実証試験 H25～） ・ 販売・消費拡大PR（スーパー等での消費宣伝[高知 1回、大阪 2回、東京 1回、宮城 1回]）の実施 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>品質の向上 ⇒市場での腐敗事故軽減対策・土壌病害虫対策の実施</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>中山間地域の振興</p> <p>■No.8 ユズを核とした中山間農業の活性化</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ J A高知市 ・ J A高知市土佐山柚子生産組合 <p>■No.9 四方竹のブランド化による中山間地域の振興</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ J A高知市 ・ J A高知市特産部会（七ツ刈筍加工組合、土佐山四方竹生産組合、鏡特産部会） ・ (財) 夢産地とさやま開発公社 	<p>[目標(H26)]</p> <p>販売額：19,000万円</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>販売額：18,000万円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 苗木育成圃場の管理指導（チーム員全員で4回） ・ 黒点病の省防除及び天敵活用実証圃の設置（天敵発生調査7回） ・ 有利販売に向けた生産予測調査（4回） <p>[課題と今後の対応]</p> <p>加工需要に応える産地の形成 ⇒生産者の高齢化等に伴うユズ園の現状把握、台帳作成整理等の実施、青果出荷への誘導、生産予測調査の継続</p> <p>[目標(H27)]</p> <p>販売額：4,000万円</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>販売額：4,000万円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 加工場および機械格納用倉庫の整備に係る計画策定協議の実施 ・ 加工場整備に向け、土佐山地区、鏡地区生産者全戸から生産意向調査実施（39人） ・ 園地（耕作園、放棄園）マップ作成着手（協議・現地調査8回） ・ 腐敗防止対策（冷水機導入等）によるブランド力の強化 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>高知市四方竹振興計画の推進 ⇒地下茎等の生育調査、耕作放棄園マップ・各圃場状況個表等の作成、加工場及び運営体制等の整備</p>
<p>■No.10 「まるごと有機プロジェクトの推進」による中山間地域の振興</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ (財) 夢産地とさやま開発公社等 	<p>[目標(H27)]</p> <p>販売額：10,720万円</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>販売額：11,800万円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 柚子酢、ジンジャーエール等加工品の安定供給・販路拡大（首都圏でのイベント販売や、自社ECサイト立ち上げ） ・ 新たな食品加工施設の整備（地域経済循環創造事業交付金

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 11 直販店を核とした鏡地域の活性化</p> <p>《事業主体》</p> <p>・鏡村直販店組合</p>	<p>[総務省]H25.3月採択)</p> <p>・良質な堆肥の生産(とさやま土づくりセンター)</p> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>公社及び農家の所得の向上</p> <p>⇒新たな加工品の開発と新加工施設の整備</p> <p>[目標(H26)]</p> <p>販売額:17,000万円</p> <p>[H25到達点]</p> <p>販売額:16,000万円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・需給改善品目(キュウリ等4品目)の動向調査と作付体系作成 ・夏季葉菜類の収穫に向けた作付誘導(実証圃場の設置2箇所:コマツナ7作、小ネギ5作栽培実証中) ・普及員OGによる地元産物を使った料理講習会の開催(3回・延べ19人) <p>[課題と今後の対応]</p> <p>需給改善対策の推進</p> <p>⇒乾燥野菜の商品化検討、料理講習会、栽培実証内容の情報提供と栽培への誘導等の実施</p>
<p>■No. 14 森の工場を核とする素材生産量の拡大</p> <p>《事業主体》</p> <p>・高知市森林組合</p>	<p>[目標(H27)]</p> <p>森の工場面積:1,500ha</p> <p>素材生産量:4,000 m³</p> <p>[H25到達点]</p> <p>森の工場面積:1,174ha</p> <p>素材生産量:3,270 m³</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・素材増産に係る関係機関への森林整備事業説明会の開催(3回) ・市広報紙や県ホームページによる、間伐の啓発と補助制度紹介の実施(8月) <p>[課題と今後の対応]</p> <p>素材の増産</p> <p>⇒森の工場の拡大、森林経営計画策定のために施業合意率の向上を図る</p> <p>⇒森林所有者への戸別訪問や地元説明会を行い、事業への理解を得る</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>一次産品(地域資源)を活用した6次産業化の推進</p> <p>■No.16 春野地区の農産物(トマト等)の付加価値向上</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(有)スタジオ・オカムラ ・連携農家 <p>■No.12 「食」の提供による地域農産物の消費拡大</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・J A高知市 ・J A高知市女性部 <p>■No.13 生乳加工品の製造・販売による新しい酪農経営モデルの創出</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知市酪農農業協同組合 	<p>[目標(H27)]</p> <p>販売額：9,400万円</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>販売額：6,000万円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・百貨店でのお中元ギフトカタログ等による販売(9社) ・好調なジンジャーエール等炭酸飲料の増産体制整備(加圧タンク1台→2台へ) ・加工品販売額(4~7月)：16,560千円 ・高級量販店向けPB商品の開発 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>小口配送に伴う物流コスト ⇒首都圏のスーパーのPB商品生産など量のまとまりを目指した販路開拓</p> <p>[目標(H26)]</p> <p>販売額：2,000万円</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>販売額：1,935万円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農産加工施設「婦人の家」の改修に対する支援(高知県産業振興推進総合支援事業費補助金H25.6月採択) ・夏秋野菜の新品種勉強会の開催 ・販売や加工の人材育成 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>「婦人の家」の機能強化 ⇒加工施設の機能強化支援、加工人材の確保・育成</p> <p>[目標(H27)]</p> <p>店舗の販売額：1,600万円</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>店舗の販売額：1,400万円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・顧客ニーズに合った商品開発 ・店舗での販売額(4~7月)：4,476千円(対前年比101.1%) ・オープンファーム、酪農教育ファームの実施による店舗の認知度の向上

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 20 「弘化台ブランドの創出」地元鮮魚を活用した食品の製造・販売</p> <p>《事業主体》</p> <p>・(株) 永邦水産</p> <p>■No. 21 地域の農産物を使った菓子類等の外商の推進</p> <p>《事業主体》</p> <p>・(有) マンジェ・ササ</p>	<p>[課題と今後の対応]</p> <p>新規顧客の開拓とリピーターの確保 ⇒イベントの継続的な実施、店舗外（高知生協、県庁生協、ネット販売）での販促活動の充実</p> <p>[目標(H27)]</p> <p>食品加工品の売上額：2.5億円</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>食品加工品の売上額：1.5億円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新加工施設の整備完了（5月末） ・試作商品の製作（5種類） ・従業員の確保（新規雇用14名） ・食品営業許可の取得（3業種） <p>[課題と今後の対応]</p> <p>商品づくりと販路の確保 ⇒大手量販店との商談のための支援</p> <p>[目標(H27)]</p> <p>首都圏での売上額：1.7億円</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>首都圏での売上額：7,000万円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3月に東京駅の丸の内側地下街に直販店舗を出店、5月には自由が丘に首都圏での2号店を出店 ・四万十米粉と柚子を使ったカステラや、「茗荷とグレープフルーツのタルト」など県産野菜を前面に出した菓子類等を首都圏で直販 ・季節に応じた商品展開 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>高知県産の野菜とスイーツの組み合わせなど意外性のある商品の消費者へのアピール ⇒テレビや雑誌などを媒体とするグルメレポートや、自社ホームページによる商品の情報発信</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>新分野への挑戦</p> <p>■No. 18 県産竹材を用いた新規分野への製品展開</p> <p>《事業主体》</p> <p>・(株) コスモ工房</p> <p>■No. 19 防災食の開発・製造・販売</p> <p>《事業主体》</p> <p>・高知県食品工業団地事業協同組合の企業など</p>	<p>[目標(H27)]</p> <p>売上額：1.2億円</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>売上額：9,000万円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・竹製ハンドルの増産に伴うラミナの増産対応 ・新製品開発(竹シート)および事業化に向けた検討 ・ものづくり補助金(中小企業団体中央会)を活用(6月採択済)して竹シート製造用ロールプレスの設備導入を決定 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>竹材の確保と新工場の整備に対する支援 ⇒他の地域本部等と連携した竹林の確保</p> <p>[目標(H27)]</p> <p>アイテム数：50アイテム</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>アイテム数：6アイテム</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域産品を原材料とする防災食の開発 ・防災展(5/24・25 中部ライフガードTEC)への出展 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>新商品の開発、販路の確保、商品の改良 ⇒高知県防災関連製品認定制度の活用</p>
<p>中心市街地の活性化</p> <p>■No. 23 中心商店街でのアンテナショップの運営</p> <p>《事業主体》</p> <p>・(株) まこと</p>	<p>[目標(H27)]</p> <p>販売額：184,300千円</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>販売額：153,600千円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魅力ある県産品の掘り起こし →登録アイテム累計4,300、約1,600点を陳列、販売 ・4年目の販売実績は、前年実績に対し112%で推移(8/13現在414千円/日) <p>[課題と今後の対応]</p> <p>「てんこす」の販売額アップ ⇒商店街関係者・NPO・学生等との連携による地域産品のPR</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 24 多彩なイベントや演出等によるおま ちのにぎわいづくり</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商店街振興組合など 	<p>[目標(H27)]</p> <p>—</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>—</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・100円商店街等のイベントの実施 ・季節に応じたフラフを飾り、商店街のにぎわいを演出 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>集客力の向上、リピーターの創出 ⇒商店街での集客イベントの実施</p>
<p>魅力ある観光戦略の展開</p> <p>■No. 27 近隣地域等との連携による滞在型・体 験型観光の推進</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)城西館等 ・高知市 <p>■No. 28 本家よさこいのブランド力確立とよ さこい文化の継承・発展</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知市 ・(社)高知市観光協会ほか関係団体等 	<p>[目標(H27)]</p> <p>高知市内の宿泊施設の延べ宿泊者数：112万人</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>高知市内の宿泊施設の延べ宿泊者数：114万人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・城西館による四万十町方面での着地型観光ツアーの展開 ・高知中央広域観光協議会の設立による観光資源の広域ネットワーク化 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たな着地型旅行商品と既存の商品を併せた宿泊客へのPR ・近隣地域との連携の強化 ⇒高知中央広域観光協議会、仁淀川地域観光協議会等との連携 <p>[目標(H27)]</p> <p>よさこい祭り来場者数：近年の最高来場者数(1,200千人)の維持</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>よさこい祭り来場者数：1,200千人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知よさこい情報交流館事業の実施(4/27オープン、入館者8/18現在37,866人) ・はりまや橋商店街と連携したイベント(よさこい鳴子踊り等)の実施 ・よさこい発祥の地PR事業(全国よさこいサミット等)の実施

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 31 土佐の偉人を活かした観光の振興</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知市 ・(社)高知市観光協会 ・特定非営利活動法人土佐観光ガイドボランティア協会 ・長宗我部連絡協議会等関係団体 	<p>[課題と今後の対応]</p> <p>年間を通して「よさこい」で集客できる事業計画の策定 ⇒よさこい祭り60周年を活かしたPR活動、まちなかよさこいの実施</p> <p>[目標(H27)]</p> <p>「龍馬の生まれた町歩き～土佐っ歩～」等への参加人数： 3,800人</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>「龍馬の生まれた町歩き～土佐っ歩～」等への参加人数： 3,250人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「龍馬に大接近」の実施(4/20～5/12)約27,000人集客 ・土佐っ歩の実績4～7月：549人、(対前年比146%) ・第2回長宗我部まつり開催(5/19)：約1,500人集客 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>更なる集客力の向上 ⇒偉人関連施設及びイベントの充実強化、団体客の確保</p>

②上記以外で特記すべき取組

取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
該当なし	

2 平成25年度産業振興推進総合支援事業費補助金の導入状況(交付決定又は採択事業)

単位：千円

取組	事業概要	総事業費(補助金額)
<p>■No. 12 「食」の提供による地域農産物の消費拡大</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JA高知市 ・JA高知市女性部 	<p>JA高知市女性部直販部会の農産加工施設(婦人の家)の拡充整備により、地元農産物や県産物を活用した加工品の製造量を増やし、直販所での販売を拡大する。</p>	12,134 (5,303)

3 地域アクションプランの追加、修正、削除(予定)項目

該当なし

4 県民参画に向けた取組

- ・ 企業訪問時に土佐の産業おこし参加プラン、産業振興計画シンポジウムのPR
- ・ 地域団体（春野地域ほか）の行事の際に産業振興計画のPR
- ・ 工業会、発明協会に対して産業振興計画シンポジウム、土佐MBAのPR
- ・ 高知市主催のイベントで、産業振興計画シンポジウム、土佐MBAのチラシの配布

5 相談案件：5件

NO.	相談日	事業種別	相談内容
1	4/16	農 業	ニラ収穫の機械化について
2	4/16	工 業	発電装置の製造に係る支援について
3	5/9	商 業	廃校になった小学校の民間活用について
4	7/12	商 業	スポーツ事業に対する支援について
5	8/22	商 業	新分野に進出しようとする企業に対する助成制度について